

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービ株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県府中市目崎町7-6-2

(3) 業種

2353 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013年度)	令和12年度 (2030年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
エネルギー 起源CO ₂	14,696	1,616 89.0	7,819 46.8	6,362 56.7	4,677 68.2	4,254 71.1	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	14,696	1,616 89.0	7,819 46.8	6,362 56.7	4,677 68.2	4,254 71.1	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	生産設備の縮小、CO2削減施策の実施により、前期比9.0%削減となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電力使用量の削減	24 t-CO ₂	アルミダイカスト鑄造機の保持炉更新
2	燃料転換	14 t-CO ₂	エンジンフォークリフト(軽油、ガソリン)を電動フォークリフトに変更する。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	社内報奨		社内では実施している改善提案制度の中で、特に優れた省エネルギーに関する提案について、社長表彰として金一封を贈っている。
2	ICP制度の導入		社内で独自にCO ₂ の価格を設定し、投資の判断基準として活用している。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。